

# White Board

## ◇小惑星表面採集試料の初期分析チーム編成のための 第一回分析competitionの結果報告

2002年7月

MUSES-Cサンプル分析検討委員会  
(委員長・久城 育夫 東京大学名誉教授)

文部科学省宇宙科学研究所では、将来の惑星探査で重要視されているサンプルリターン技術を習得するための工学試験探査機 MUSES-C を2002年末に打ち上げます。この探査機は近地球型小惑星 1998SF36 から重量数100mgから1g程度のサンプルを採取して、2007年夏に地球に持ち帰る予定です。

当委員会では、地球に回収される試料の初期分析と、その後の詳細分析に供する試料の管理・配分作業を、宇宙科学研究所の研究者と共に「オールジャパン」体制のチームワークで実施する「MUSES-C小惑星試料初期分析チーム MASPET (MUSES-C Asteroidal Sample Preliminary Examination Team)」を編成すべく、分析技術competitionを実施致しました。このcompetitionの実施経緯と結果について、以下のようにご報告いたします。

### 経緯および結果

1999年12月 第一回公募公示  
 2000年4月 募集締切り(有効応募数:11)  
 2000年5-8月 各分析分野の国内専門家複数による第一次書類審査(審査通過数:9)  
 2000年8-10月 一次通過者に2種類の未知試料を配布。自己申告した(1)分析内容およびその精度と確度, (2)必要最小重量, (3)分析に要する期間等に沿って、試料分析と結果の英文レポート作成

2000年12月

-2001年2月 分析成果レポート提出

2001年3-10月 各分析分野の国内外専門家複数による第二次審査

2001年11月 分析検討委員会の元に設置された選考委員会による初期分析候補者(グループ)の推薦(推薦グループ数:6)2002年5月 推薦グループを分析検討委員会承認

模擬試料の分析結果は、第1次審査を経て分析コンクールに参加された全応募グループから提出された報告のうち、出版の承諾を頂けたものについて、宇宙科学研究所の査読付き英文報告書「ISAS Report」特集号に近々まとめて掲載致します。冊子をご希望の方は、下記の連絡先までご一報下さい。

今後、少なくともあと1回のcompetitionを行った後、今回および次回の結果を考慮した上で、最終的なMASPETのメンバー編成を決定する予定です。今回寄せられた関係者各位のご協力に感謝するとともに、今後ともMUSES-Cミッションへのご支援・ご協力をお願い致します。

### 今後のスケジュール予定

2002年末 MUSES-C打ち上げ

2003年 第2回初期分析コンクール公募

2005年夏	小惑星到着・その場計測・表面試料採取
2005-6年	初期分析チームの最終調整・最終審査
2006-7年	初期分析全チームによる、初期分析全過程のリハーサル
2007年夏	試料回収、初期分析活動開始

なお、本件に関するお問い合わせは、下記までお願い致します。

文部科学省宇宙科学研究所・惑星研究系

(担当：矢野創 宛)

〒229-8510 神奈川県相模原市由野台3-1-1

電話：042-759-8197

ファクス：042-759-8457

電子メール：yano@planeta.sci.isas.ac.jp

## ◇2003年度「女性科学者に明るい未来をの会・猿橋賞」の受賞候補者及び研究奨励賞候補者の推薦依頼

2002年6月

女性科学者に明るい未来をの会

会長 古在 由秀

「女性科学者に明るい未来をの会」(1980年創立)は、自然科学の分野で、顕著な研究業績を収めた女性科学者に、毎年、賞(猿橋賞)を贈呈してまいりました。1990年度からは、さらに、海外のシンポジウム等に出席し、論文を発表する若手の女性研究者にたいし、研究助成することにいたしました。(研究奨励賞)。賞金と助成金は、本会を母体として新設された、公益信託(1990年3月13日文部省承認)「女性自然科学者研究支援基金」(受託者 東洋信託銀行株式会社)から支出されています。

つきましては、下記の要領により受賞者候補者と奨励賞候補者の推薦をお願いします。

### 記

#### 猿橋賞

1. 本賞は自然科学の分野で、顕著な研究業績を収めた女性科学者(ただし、下記の推薦締め切り日で50才未満)に贈呈します。
2. 本賞は賞状とし、副賞として賞金(30万円)をそえます。

3. 本賞の贈呈は1年1件(1名)です。
4. 所定の用紙に受賞候補者の推薦対象となる研究課題、推薦理由(400字程度)、略歴、主な業績リスト、主な論文別刷り10編程度、及び推薦者氏名・肩書きを、本会事務局までお送り下さい。
5. 締め切りは2002年11月30日(必着)。
6. 第23回の賞贈呈式は、2003年5月、東京において行なう予定です。

なお、最近4年間の猿橋賞受賞者は次の通りです。

#### 猿橋賞受賞者

第19回(1999)

持田 澄子博士：東京医科大学教授「神経伝達物質及び放出機構の研究」

第20回(2000)

中西 友子博士：東京大学大学院農学生命科学研究科教授「植物による水および微量元素の挙動」

第21回(2001)

永原 祐子博士：東京大学大学院理学研究科教授  
「隕石や惑星物質の形成と進化」

第22回 (2002)

真行寺 千佳子博士：東京大学大学院理学研究科助  
教授「生物のべん毛運動に関  
する研究」

## 研究奨励賞

1. 海外のシンポジウム等に出席し、論文を発表する女性研究者に対し、研究助成をいたします。
2. 助成金は1件10万円とし、年に数件とします。
3. 所定の用紙に推薦対象者(各締め切り日において満40才未満)の略歴、研究業績、国際学会名(主催団体、開催場所、年月日)、発表論文題目、推薦理由等、及び推薦者氏名・肩書きを記入して、本学会事務局までお送りください。
4. 締め切りは2002年11月末日と、2003年4月末日の2回

女性科学者に明るい未来をの会

166-0002 東京都杉並区高円寺北4-29-2-217  
電話03-3330-2455 (FAX 兼用)